第　2　号
（令和８年 11 月発行）

導入準備委員会つうしん

洞爺湖町が目指す１５歳の姿～洞爺湖町（ふるさと）を愛し　夢に向かって　世界とつながり　挑戦し続ける 15 歳（こども）

～新しい学校の「ソフト面（中身）」について、具体的な協議が進んでいます！～

洞爺湖町では、令和 10 年４月の小中一貫教育制度の導入に向け、「虻田・洞爺湖温泉地区」と「洞爺地区」の両準備委員会にて協議を進めています。
９月下旬に開催された第２回会議では、制服や PTA 組織、部活動の地域展開など、子どもたちの学校生活に直結する具体的な議案について活発な意見交換が行われました。今回はその協議内容をお知らせいたします。

各地区の第2回会議の概要

「虻田・洞爺湖温泉地区」　施設一体型義務教育学校（９月 28 日開催）

①制服・ジャージについて
中学校はブレザー導入から３年目で補助金もありますが、小学校は制服はありません。「高学年の気持ちの切り替えに制服が良い」という意見や「小学生は成長が早くすぐにサイズアウトするため私服が良い」という意見があり、経済的負担の面からも意見が分かれるため、広く保護者の意見を考慮し継続検討となりました。

②日課表と部活動の現状
現在、小中で時間を調整し日課を進行していますが、生徒が時間を計算して行動できるようになるなど、大きな混乱はなく、部活動終了時刻が早まり、教員の長時間勤務解消にもつながっています。部活動は近隣チームとの連携実績を踏まえた支援要望がありました。

③ PTA 組織について
役員負担軽減が課題となる一方、保護者が学校に言いにくい相談を PTA 会長が仲介する利点も確認され、組織の存続や小中合同化については、引き続き協議することとなりました。

④「校名案」公募状況と選定（9 月 28 日現在の状況）
９月 28 日時点で 24 件の応募があり、「洞爺・とうやを冠するもの」「虻田・あぶたを冠するもの」「3 校統合を象徴するもの」「豊かな自然をイメージしたもの」の 4 傾向に分かれました。2 次募集は行わず、次回準備委員会で候補を絞り込み、児童生徒へのアンケートを実施し、最終選定へと進む流れが承認されました。

「洞爺地区」　施設分離型小中一貫型小学校・中学校（９月 30 日開催）

①制服・ジャージ・学校行事について
制服等については、過度な期待（新しい学校＝全てが新しくなる）を持たせない配慮や、町の補助金の有無を踏まえ、アンケートなどで広く保護者の意見を聴取して方向性を検討することとなりました。また、学校行事は基本現状維持（小中別）としつつ、将来の児童生徒数の減少を見据え、小中合同開催の余地を残していくこととしました。

②部活動（地域展開）と移動手段
指導者不足が最大の課題です。町単独ではなく豊浦町や壮瞥町との広域連携の推進や送迎負担軽減のためのコミュニティータクシーなどによる移動手段の確保を求める声が挙がりました。

③ PTA 組織のあり方について
他地域での連合会組織からの脱退などの動きもあり、「上部組織を抜けたとしても町内の保護者同士の情報交換の場は必要」との認識や、今後は小中学校単位ではなく「洞爺地区の小中学校合同」として意見をまとめ、12 月の合同会議で検討する方針が確認されました。また、組織が変わっても学校や教育委員会の協力体制を求める声が挙がりました。

④情報発信の充実
保護者から「全体像やスケジュールが見えず意見が出しづらい」との声もあるので、「マチコミ」をはじめさまざまなツールを活用し、より確実で複数回にわたる情報発信を行うよう要望が出されました。

今後の主なスケジュール（予定）

令和８年 10 ～ 11 月	**虻田・洞爺湖温泉地区** 校名案の絞り込みなど
令和８年 12 月	**「虻田・洞爺湖温泉地区」「洞爺地区」両地区合同会議の開催** 制服などの在り方、新教科（外国語教育）、ふるさと学習、指導内容入れ替えなどの教育課程に関わる検討状況の共有を図ります。

【問合せ】導入準備委員会事務局（洞爺湖町教育委員会教育推進課）
☎ 74－3009　e-mail　ky_gakkou@town.toyako.lg.jp